

予防安全を基本に潜在的リスクの解消に注力。

安全への取り組み

予防安全を基本に、潜在的リスクの解消に努めています。

三井金属グループ各所社は、予防安全に重点を置き、無事故・無災害の達成を目指しています。その実現のため、RA(リスクアセスメント)により潜在的なリスクを洗い出し、リスクの高い設備の改善、作業に潜む危険性の情報(ヒヤリハット事例等)の共有を図り、不安全行動が引き起こす災害を未然に防ぐKY(危険予知)活動に力を注いでいます。

● 安全教育

階層別安全教育やKY教育の他、作業者との対話に留意したパトロールを行っています。また、2014年10月から2015年8月にかけてRA(リスクアセスメント)講習会を7回にわたって開催。計183人が受講し、リスクに対する評価と対策を学びました。

● 安全体感訓練

過去の災害を教訓に手作りした安全体感装置を活用し、安全体感訓練を実施しています。
[装置例]ギヤやベルトに竹や軍手を巻き込ませ損傷度合いや痛みを体感する装置 / 感電を体感する装置 / 床の摩擦係数により滑りやすさを体感する装置 等

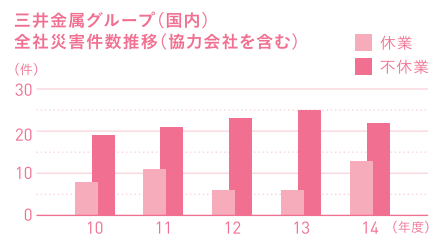
● 目や耳に訴える安全の仕掛け

危険箇所の色表示、音声による注意喚起を実施。「安全基本ルール」等を記した大型掲示板の設置、災害発生場所の標示、横断歩道や階段での指差呼称指示の標示を行っています。

安全成績

全社災害件数は前年度より4件増加しました。

2014年度のグループ全社災害件数は、前年度から4件増加し35件に、休業災害は前年度から7件増加し13件となりました。管理監督者・従業員・協力会社すべてが改めて安全基本ルールの原点に立ち返り、実作業の中で一度見直すことで、労働災害の撲滅に取り組んでまいります。



労働安全衛生マネジメントシステム

システムの的確な運用で職場環境の改善に努めています。

三井金属グループは、対象37所社すべてにおいて労働安全衛生マネジメントシステム「OHSAS18001」の構築を完了させています。定期的なRA(リスクアセスメント)や内部監査の実施、KY(危険予知)活動などシステムの運用を図り、より安全で働きやすい職場環境の実現に取り組んでいます。

● 労働安全衛生関連研修会の開催

労働安全衛生法令の遵守を徹底するために、全所社を対象として労働安全衛生関連法の研修会を開催しています。

労働安全衛生関連法令研修

■ 東京本社 4月24日	15名	■ 上尾研修センター 10月23日	25名	■ 神岡鉱業 7月1日	20名
■ 竹原製錬所 9月4日	13名	■ 三池製錬 11月18日	11名		31名

● 安全監査の徹底

リスクの高い所社では毎年1回、その他の所社では2年に1回、安全監査を実施。リスク評価、危険予知などの安全活動の状況と労働安全衛生法等の遵守状況を確認するとともに、労働安全衛生マネジメントシステムとの整合性をチェックしています。

三池事務所(安全体感研修センター)

総務課
杉浦 裕史 課長
安全研修センターにおいて、安全体感教育を実施。年間の講座数は46回、受講者数は259名を数えました。内容は、「薬液、高温危険体感」「重量物危険体感」「感電体感」「切創危険体感」「回転巻き込まれ体感」など多岐にわたり、参加者は安全に対する意識向上や正しい作業手順の順守を改めて学びました。



階段昇降危険体感

地域活動に参加し、世代を超えた交流を促進。

基礎評価研究所で「子ども大学」開講

地域の子どもたちへ、体験型学習の場を提供。

2014年8月6日、埼玉県上尾市にある三井金属グループ基礎評価研究所において、上尾市・伊奈町・桶川市の教育委員会が主催する「子ども大学」の授業が行われ、51名の小学生が参加しました。子ども大学は、地元の小学校5・6年生を対象に、大学のキャンパスや企業などで学ぶ、「子どものための大学」です。その主旨に賛同した基礎評価研究所は、初の試みでしたが所員一丸となって授業の企画に取り組み、当日は「研究所を探検! 素材の秘密を調べよう」というテーマで、体験型学習を中心とした授業を実施しました。

白衣をまとった子ども研究員たちは、スタンプラリーを楽しみながら研究所の8つのエリアを探検。実際に顕微鏡を使って身近にある物の素材や構造を観察したり、糖度センサーでみかんの甘さを測定し選別する体験にも取り組みました。各エリアでは子どもたちの好奇心に満ちた驚きの声が聞こえ、終了後のアンケートでは参加者全員が「楽しかった」と回答するなど授業は大好評でした。

三井金属グループは、こうした取り組みを通して、一人でも多くの子どもたちが科学に興味を持ち、将来の夢につなげることができたらと願っています。



子どもたちの知的好奇心をくすぐる、さまざまな工夫を凝らした体験学習を実施。子どもたちは見たこともない装置に興味津々。先生役として子どもたちと接した研究所の所員にとっても貴重な経験となりました。

地域貢献活動

地域の活動やイベントにも積極的に参加しています。

三井金属グループでは、従業員が工場周辺の清掃活動を行うなど地域の環境美化に努めています。また、地域の祭りに積極的に参加し、地域の生徒・学生の体験学習や見学会を受け入れるなど、さまざまな機会を通して地域の人々とコミュニケーションを図っています。2014年度も多くの所社で、これらの活動に取り組みました。



地域の祭りにも積極的に参加。大年田では毎年夏に行われる伝統の「大蛇山まつり」に掛いの法被を着て参加(写真左)。彦島製錬では地域の夏祭りに協力。祭りに合わせて宮司様から安全祈願を受けています(写真右)。

基礎評価研究所

分析技術統括センター
栗原 美穂 主任研究員
当社の社員が講師となり、地域の児童を対象とした「子ども大学」を実施しました。科学はもちろん、当社に興味をもってもらえるように催し物の内容を工夫し、大変好評でした。地域貢献だけでなく、地域の人々に当社を知ってもらう機会を得られることは貴重なことだと思いました。

